

日清製粉グループ 第1四半期連結決算、通期連結業績予想

第1四半期は売上高1,057億80百万円、経常利益81億81百万円。

[平成23年3月期第1四半期連結決算]

(株)日清製粉グループ本社(社長 村上 一平)の平成23年3月期第1四半期につきましては、企業業績の改善や輸出の増加など、景気は持ち直してきているものの、個人消費はまだ本格的な回復には至らず、厳しい市場環境が続く中、新製品の開発・販売、積極的な販促活動等による出荷拡大施策を実行するとともに生産性向上及び固定費の削減などのコスト削減に取り組みました。そのような中、本年4月に輸入小麦の政府売渡価格が5銘柄平均5%引下げられたことを受け、製品価格改定を実施いたしました。

また、昨年4月にスタートしました経営計画「日清製粉グループ行動計画 GO, 2010」につきましては、その目標達成に向けた取組みを各事業において着実に進めております。

この結果、第1四半期の業績は、売上高は製品価格改定の影響により1,057億80百万円(前年同期比92.5%)となりましたが、利益面では、製粉及び酵母・バイオ事業を始めとした食品事業における出荷増加や、酵母・バイオ事業において原材料相場が安定して推移したことやコスト削減、並びにメッシュクロス事業の収益回復等により、営業利益は72億43百万円(前年同期比116.3%)、経常利益は81億81百万円(前年同期比113.3%)、四半期純利益は43億87百万円(前年同期比102.9%)となりました。

[平成23年3月期通期連結業績予想]

第1四半期は、出荷が堅調だったことや酵母・バイオ事業において原材料相場が安定して推移したこと等から業績は順調に推移いたしましたが、今後につきましては、厳しい雇用環境、デフレの継続等により、個人消費の低迷が継続することが見込まれ、当社各事業に関しても厳しい環境が続くものと予想され、第2四半期以降における業績は当初予想並みに推移すると想定しております。当社はこのような状況におきまして、各事業で積極的な広告宣伝を継続するとともに販売促進活動を強力に推進し、引き続き、出荷拡大に努めてまいります。また、多様化する消費者の皆様のニーズに応える新製品を開発するため、研究開発に注力するとともに、当社グループの持続的な成長を実現するため、国内外における新規事業開発に積極的に取り組んでまいります。海外事業に関しましては、既存事業拡大の強力な推進とともに、新規事業の実現に取り組んでまいります。

以上により、当年度の連結業績予想につきましては、売上高は4,290億円(前年同期比96.7%)と当初予想通りとしておりますが、利益面では営業利益は249億円(前年同期比93.7%)、経常利益は274億円(前年同期比93.4%)、当期純利益は155億円(前年同期比92.0%)と上方修正しております。

なお、当社は連結子会社である、オリエンタル酵母工業(株)及び(株)NBCメッシュテックにつきまして、この度、当社グループ全体として効率的且つ最適なグループ経営を実践し、長期的な企業価値の更なる向上を図るため、当社の100%子会社とすることを目的として、公開買付けを実施することとし、本日「当社子会社であるオリエンタル酵母工業株式会社株式に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」及び「当社子会社である株式会社NBCメッシュテック株式に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」を発表しております。本公開買付けによる今期業績予想に与える影響は現在精査中であり、今後、業績予想修正の必要性及び公表すべき事項が生じた場合にはすみやかに開示いたします。

以上